



未来の「環境仕事人」養成プロジェクト 子どもたちが発信創造するガラスびん入り地サイダー

事業目的

弊社は、横浜市内でガラスびんリサイクル事業を専業で行う唯一の企業です。未来の環境関連事業に従事する人材の育成を目的として、小学生を対象に学年に応じた環境学習プログラムを提案、学校と連携し実施しています。低学年時には「環境への気づき」、中学年時には「まち、身近な環境活動への理解」、高学年時には「職業への実践」へとスケールアップするプログラムを提供しています。プログラムの中でも、横浜市内の老舗地サイダー製造会社との協働による「子どもたちが発信創造するガラスびん入り地サイダー」編は、現在横浜市内数校で取り組んでいただいており、以下の目的から、市内全区での取り組みに広げていきたいと考えています。

1. 子どもたちに環境関連事業、地場製造業の存在価値を知る機会を作り、地域を意識した産業構築の意識醸成や、製造販売に従事する意識の醸成を図る。
2. 横浜ならではの商品を市内小学生とともに開発販売することで、子どもたちの営業企画力を養うこと。
3. 環境により容器の選択肢を広げることで、子どもたちの環境意識の醸成を行う。

【期待される効果として】

営業企画の方法とともに環境保全をテーマとして学ぶことで、SDGs のターゲット 4 「質の高い教育をみんなに」 12 「つくる責任つかう責任」 14 「海の豊かさを守ろう」、ひいては、地域循環の産業基盤の構築という観点からターゲット 9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」への深い理解を促すことができます。SDGs のターゲット 17 「パートナーシップで目標を達成しよう」にもつながるこうした産学連携は、横浜発信の好事例として他都市に先駆けた取り組みに発展することが期待されます。

事業計画

【内容】

G20においても大きな議題となった脱プラ問題の解決策としても期待される、環境により容器とされるガラスびん。この容器を使った地サイダーの流通は、近年静かなブームとなっている。中でも横浜発祥とされるサイダーを当時のレシピを再現して製造している坪井食品株式会社のサイダーは、高く評価されている。そこで、横浜市内の小学校を対象に、そのラベルデザインと商品販売に効果的な営業手法を学び、環境により容器の大切さを体感する人材育成プロジェクトとしてオリジナルサイダーを作成、各小学校の地元地域の飲食店、小売店舗（店舗限定）の流通までを体験する教室を実施する。また、地域住民がサイダーを購入することにより、その売価の一部を小学校に環境教育教材として寄付し、地域から地元小学校を支援する方策として確立する。

- 小学生への環境啓発授業の開催
- ラベルデザイン及び販売先の開拓
- サイダーの製作、啓発授業（2回）の実施
- サイダーの販売体験

【体制】

有限会社マルニ商店：商品企画及び子どもたちへの意識啓発、本プロジェクトの事務及び全体コーディネート

坪井食品株式会社：オリジナル地サイダーの製造

市内小学校児童：オリジナル地サイダーのラベルデザイン、販売先への依頼

地域住民：小売店舗での販売や商品購入

問合先

有限会社 マルニ商店

代表取締役 栗原 晴彦

〒220-0072 神奈川県横浜市西区浅間町 3-174-1

TEL : 045-311-5648 (担当: 常務取締役 栗原 清剛)

FAX : 045-312-1304 E-mail : maruni@ceres.ocn.ne.jp